

厚生労働科学研究費補助金 (がん対策推進総合研究事業)
(分担研究報告書)

科学的根拠に基づくがん情報の迅速な作成と提供のための体制整備のあり方に関する研究

研究分担者 河野 浩二 福島県立医科大学 消化管外科学講座 (主任教授)

研究要旨

科学的根拠に基づくがん情報の迅速な作成と提供のための体制整備のあり方に関する研究に関して、日本癌治療学会を代表する立場から本プロジェクトに参加した。2021年10月の日本癌治療学会総会において、がん治療学会が運営するがん診療ガイドラインホームページの運営を通して、①いかに根拠に基づく正確性を評価するか、②医療者に対する情報の提供体制を構築するかを議論した。

A. 研究目的

本研究では、国、国立がん研究センター、関係学会等との連携による1) 正しい情報の作成と提供、2) たどり着きやすくするシステム、3) 活用環境の3側面から、科学的根拠に基づくがんの情報を迅速に提供するための体制整備につなげる方策を提言することを目的とする。

B. 研究方法

がん治療学会が運営する「がん診療ガイドラインホームページ」の総アクセス数や、アクセス者の医療者の内訳、コンテンツ毎のアクセス頻度などを検討する。

また、がん診療ガイドラインシンポジウムを開催することで、診療ガイドラインの役割と質の向上について議論する。

(倫理面への配慮)

本研究は、患者さんの個人情報などを扱う内容ではなく、特に倫理面の配慮の必要はない。

C. 研究結果

科学的根拠に基づくがん情報の迅速な作成と提供のための体制整備のあり方に関する研究に関して、日本癌治療学会を代表する立場から本プロジェクトに参加した。班会議において、がん治療学会が運営するがん診療ガイドラインホームページの運営を通して、①いかに根拠に基づく正確性を評価するか、②医療者に対する情報の提供体制を構築するかを議論した。

また、日本癌治療学会の年次総会において、がん診療ガイドラインシンポジウムを開催し(添付資料)、最新のガイドライン改定状況、質の向上、周知の状況について議論した。癌治療学会が運営する

「がん診療ガイドラインホームページ」は、適切な第三者評価がなされ、科学的根拠に基づくガイドラインが適切に運営されていた。ホームページ利用者は学会員を対象としているため、35%が医師、35%が薬剤師の利用状況であった。

セッション情報

第59回・2021年・横浜 がん診療ガイドライン統括・連絡委員会企画シンポジウム

がん診療ガイドライン統括・連絡委員会企画シンポジウム
がん診療ガイドラインのUpdate 2021

日本癌治療学会「がん診療ガイドラインホームページjsco-cpg.jp」運営とアクセス状況
演題番号：GSY-1
河野 浩二:1
1:福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座

がん診療ガイドライン評価委員会からのメッセージ
演題番号：GSY-2
松井 邦彦:1
1:熊本大学病院 総合診療科/日本癌治療学会がん診療ガイドライン評価委員会委員

Minds 診療ガイドライン作成マニュアル2020のポイント
演題番号：GSY-3
吉田 雅博:1,2
1:国際医療福祉大学 市川病院 一般外科/日本医療機能評価機構 EBM医療情報部、2:日本医療機能評価機構 EBM医療情報部

GIST診療ガイドライン第4版の改訂のポイント
演題番号：GSY-4
廣田 誠一:1
1:兵庫医科大学 病理診断科

大腸癌診療ガイドライン医師用2019年版改訂のポイント
演題番号：GSY-5
橋口 陽二郎:1
1:帝京大学医学部外科講座/がん診療ガイドライン統括・連絡委員会大腸がん分科会/大腸癌研究会

がんのリハビリテーション診療ガイドライン第2版改訂のポイント
演題番号：GSY-6
辻 哲也:1
1:慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

臓器がん登録データベースなどを用いた婦人科がん治療ガイドラインの検証
演題番号：GSY-7
永瀬 智:1
1:山形大学 医学部 産科婦人科学講座

学術集会抄録アーカイブサイト Copyright(C) -2022 日本癌治療学会. All Rights reserved.

D. 考察

癌治療学会が運営する「がん診療ガイドラインホームページ」は、適切な第三者評価がなされ、科学的根拠に基づくガイドラインが適切に運営されていた。

E. 結論

広く一般市民を対象とした癌治療の情報を提供するためには、その目的に特化した組織の構築が必要であり、その組織と各種学会の協力体制が望ましい。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

1. 論文発表

本研究に関連するものは特になし

2. 学会発表

第59回 日本癌治療学会 がん診療ガイドライン統括・連絡委員会企画シンポジウム

「がん診療ガイドラインのUpdate2021」

2021年10月 横浜

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし